

令和4年2月3日

ご家族様・関係者様各位

特別養護老人ホームサンホーム鶴間
居宅介護支援センターサンホーム鶴間
施設長 天野 宏一

新型コロナウイルス陽性者の報告について（2-1）

日頃より格別のご高配賜り、厚く御礼申し上げます。

先日1月29日（土曜日）に全職員のPCR検査の結果、「陰性」の確認ができたところ、サンホームでの新型コロナウイルス感染の終息をお知らせいたしました。

その後1月31日（月）に1名の特養介護職員の発熱が確認され、近医に受診しPCR検査を行い、その結果2月1日（火）に「陽性」の確認がされ、自宅療養となりました。県クラスター班と相談、「施設内では継続してN95マスクを着用して感染予防に行いながらの介護を行っていること、その職員が食事も孤食をしていたこと」を踏まえて、前回の感染の継続ではないと思われることを確認し、現在の介護体制で継続して支援をすることの確認をいたしました。

2月1日の夜勤帯にて入居者2名の発熱者が確認され朝には解熱いたしましたが、念のため施設で抗原検査を行ったところ「陽性」との検査結果がでたため、所管の保健所・県クラスター班に報告とともに相談をしました。入居者2名のご家族にはご連絡をしておりますが、現在の感染者の状況では入院対応はできないとのことで施設内療養することとなり、ゾーニングや支援体制を検討し対応することとなりました。また同じフロア介護職員が昨日体調の不良があり早退し抗原検査を実施しましたが陰性となり、症状も落ち着いていたのですが近医に受診し検査の結果「陽性」との診断にて、自宅療養しています。

ショートステイ（短期入所）は、対応フロアが違うこともありご家族のご要望に応じて対応させていただくことで県クラスター班の担当者より助言もいただきました。ご心配をおかけしますが、何卒ご理解をいただきたくお願いいたします。

今後も入居者の健康管理を行い、保健所・県クラスター班の助言を受けながら対応していくこととなります。今後は状況に応じて、個別にご報告させていただくこととなるかと思えます。職員の定期的な（週1回）PCR検査を継続し、より一層の感染予防に努めてまいります。

大変ご迷惑をお掛けしておりますが、今後ともご協力とご支援をお願いいたします。